

「お若けえの  
お待ちなせえやし！」

見出しの台詞に、すぐピンと来た  
読者は、なかなかの歌舞伎通ではな  
かるうか。

弱きを助け、強きを挫く男の中の  
男、それが江戸時代初期の侠客とし  
て知られた幡隨院長兵衛である。

佐賀藩の武士・塚本伊織の息子と  
して生まれた長兵衛は、本名を塚本  
常平、幼名を伊太郎という。

生まれは「大坂夏の陣」から七年  
目の元和八年（1622）。世が天下  
泰平に移行していく中、かつて戦場  
を駆け抜けた武士や足軽たちは活躍  
の場を失い、もはや槍一本で勝負す  
る時代は終わった。不满を身体に漲  
らせた若者たちは、派手な女物の着  
物を羽織り、徒党を組んで街中を闊  
歩。となれば、当たり前のよう町  
のあちこちでは喧嘩や刃傷沙汰など  
が頻繁に起きたようになっていた。

病死した父の遺言により長兵衛が  
江戸・浅草の幡隨院に自導和尚を訪  
ねたのは、そんな輩が街を闊歩して  
いた、ある日のことだった。幡隨院  
は京都知恩院の末寺。幡隨院前にあ  
る下谷神吉町の長屋に移り住んだ彼

を駆け抜けた武士や足軽たちは活躍  
の場を失い、もはや槍一本で勝負す  
る時代は終わった。不满を身体に漲  
らせた若者たちは、派手な女物の着  
物を羽織り、徒党を組んで街中を闊  
歩。となれば、当たり前のよう町  
のあちこちでは喧嘩や刃傷沙汰など  
が頻繁に起きたようになっていた。

病死した父の遺言により長兵衛が  
江戸・浅草の幡隨院に自導和尚を訪  
ねたのは、そんな輩が街を闊歩して  
いた、ある日のことだった。幡隨院  
は京都知恩院の末寺。幡隨院前にあ  
る下谷神吉町の長屋に移り住んだ彼

は、幡隨院長兵衛と名乗り「口入れ業」を営むことになる。  
「口入れ業」とは大名や旗本などに  
して知られた幡隨院長兵衛である。  
佐賀藩の武士・塚本伊織の息子と  
して生まれた長兵衛は、本名を塚本  
常平、幼名を伊太郎という。

生まれは「大坂夏の陣」から七年  
目の元和八年（1622）。世が天下  
泰平に移行していく中、かつて戦場  
を駆け抜けた武士や足軽たちは活躍  
の場を失い、もはや槍一本で勝負す  
る時代は終わった。不满を身体に漲  
らせた若者たちは、派手な女物の着  
物を羽織り、徒党を組んで街中を闊  
歩。となれば、当たり前のよう町  
のあちこちでは喧嘩や刃傷沙汰など  
が頻繁に起きたようになっていた。

病死した父の遺言により長兵衛が  
江戸・浅草の幡隨院に自導和尚を訪  
ねたのは、そんな輩が街を闊歩して  
いた、ある日のことだった。幡隨院  
は京都知恩院の末寺。幡隨院前にあ  
る下谷神吉町の長屋に移り住んだ彼

は、幡隨院長兵衛と名乗り「口入れ業」を営むことになる。

「町奴」という、対立するふたつの勢  
いうわけだ。

当時、江戸の町には「旗本奴」と  
「町奴」という、対立するふたつの勢  
いうわけだ。

搬に汗を流す人足の人手不足が慢性  
化していた。そこで各地に「口入れ業」を生業にする者たちが現れたと  
いいうわけだ。

文=樺木倫太郎 写真=菲谷真紀 32

元和九年（1623）、二〇歳

で征夷大将軍となつた徳川家光  
は、家康・秀忠が築いた武家封  
建社会をさらに安定させるため、

後に徳川幕府二六〇年間の基礎  
となる「参勤交代」や「鎮国」を  
実施。この参勤交代により宿場  
町や港では、街道整備や資材運

は、幡隨院長兵衛と名乗り「口入れ業」を営むことになる。



明治期、  
歌舞伎となつて  
一躍ヒーローに

長兵衛の宿敵が水野十郎左衛門成  
之という三千石の旗本だった。水野  
は街中で乱暴を繰り返す傾奇者で、  
大小神祇組という旗本奴の頭目であ  
る。

ただ、水野と長兵衛がどんなきつ  
かけで男伊達を競うことになったの  
かは、定かではない。

河竹黙阿弥が書いた『極付幡隨長  
兵衛』（1881年）という芝居で  
は、大小神祇組の横暴ぶりを見かね  
た長兵衛が自慢の腕で彼らを懲らし  
め、その話を聞いた水野が長兵衛殺  
害を画策。明暦三年（1657）七  
月十八日。酒席に誘い出し、わざと  
衣服を汚して、湯殿に裸になつた長  
兵衛を襲つて……ということになつ  
てゐる。明暦三年といえば、一月に  
てゐる。明暦三年といえば、一月に

向かつて左側が長兵衛、右側は妻お  
きんのものだ。長年の風雪を経て、  
所々表面が落剥しているが、今も足  
を運ぶファンが絶えない。隣接して  
伊能忠敬やその師・高橋至時の墓も  
あり、それぞれが国の史跡に指定さ  
れている。

阿波座がらすハ浪花がたや鷺は  
京そだち吉原すずめを羽がひにつけ  
江戸で男と立てられた

男の中のをどこ一びき  
いつでも尋ねて御ぜいやし  
蔭膳据て待つておりやす

「人は一代 名は末代」――  
阿波座がらすハ浪花がたや鷺は  
京そだち吉原すずめを羽がひにつけ  
江戸で男と立てられた

無礼討ちを覚悟で水野の屋敷に乗り  
込み、威勢のいい啖呵を切つたと伝  
わったことで町人が英雄視し、歌舞  
伎や講談の主人公として語り継がれ  
ることになった。町人は威張り腐つ  
た直參旗本などより、同類の町奴の  
ほうにヒーローを仮託したのだ。水  
野はとんと敵役を引き受けさせられ  
たのである。

ともあれ、長兵衛にとつて潔斎垢  
離したであらう明暦三年七月十八日  
が、生涯最大の一大事となつたこと

長兵衛が殺された水野の屋敷は千代  
田区の旧西神田小学校（廃校）付近  
だつたとされる。

その水野も、長兵衛殺しから七年  
後、寛文四年（1664）三月二十  
七日、病氣を申し立てて奉公を怠り、  
「不行跡である」として切腹を命ぜら  
れた。ただし、これは長兵衛殺しと  
は何ら関係なかった。

ところが「長兵衛は牢人であり、死  
人側から届け出がないなら捨  
ておけ」ということになり、水野に  
は何らお咎めはなかつた。長兵衛の  
屍は神田川に捨てられたとも、水野  
屋敷の裏庭の片隅に埋められたとも  
いわれる。

また、綿谷雪氏の『江戸ルポル  
タージュ』（1957年刊）によると、  
は老中に報告。

ところが「長兵衛は牢人であり、死  
人側から届け出がないなら捨  
ておけ」ということになり、水野に  
は何らお咎めはなかつた。長兵衛の  
屍は神田川に捨てられたとも、水野  
屋敷の裏庭の片隅に埋められたとも  
いわれる。

## 粹で鱈背な 男伊達 町奴の幡隨長兵衛とは 俺がことだー！



ばんずいんちょうべえ●元和8年（1622）～明暦3年7月18日  
(1657年8月27日)。唐津藩・塚本伊織の息とされるが、文禄2年（1593）、豊臣秀吉により滅亡させられた波多氏の旧家臣の子、幡隨院の門守の子と説もある。塚本伊織の息子説を取れば、父の死後、江戸の幡隨院の向導住職を頼って出府し、浅草花川戸で口入れ屋を営む。やがて名を上げて町奴の頭領となり、男伊達を競った旗本奴と争って驕し討ちにあって死去。享年36。墓所は源空寺（東京都台東区東上野6丁目）。

庶民は

威張つた旗本より  
反骨の町人が好きだつた

その水野も、長兵衛殺しから七年  
後、寛文四年（1664）三月二十  
七日、病氣を申し立てて奉公を怠り、  
「不行跡である」として切腹を命ぜら  
れた。ただし、これは長兵衛殺しと  
は何ら関係なかった。

長兵衛が殺された水野の屋敷は千代

田区の旧西神田小学校（廃校）付近  
だつたとされる。

その水野も、長兵衛殺しから七年  
後、寛文四年（1664）三月二十  
七日、病氣を申し立てて奉公を怠り、  
「不行跡である」として切腹を命ぜら  
れた。ただし、これは長兵衛殺しと  
は何ら関係なかった。

長兵衛が殺された水野の屋敷は千代

田区の旧西神田小学校（廃校）付近  
だつたとされる。

その水野も、長兵衛殺しから七年  
後、寛文四年（1664）三月二十  
七日、病氣を申し立てて奉公を怠り、  
「不行跡である」として切腹を命ぜら  
れた。ただし、これは長兵衛殺しと  
は何ら関係なかった。

長兵衛が殺された水野の屋敷は千代

田区の旧西神田小学校（廃校）付近  
だつたとされる。

その水野も、長兵衛殺しから七年  
後、寛文四年（1664）三月二十  
七日、病氣を申し立てて奉公を怠り、  
「不行跡である」として切腹を命ぜら  
れた。ただし、これは長兵衛殺しと  
は何ら関係なかった。

長兵衛が殺された水野の屋敷は千代

田区の旧西神田小学校（廃校）付近  
だつたとされる。

その水野も、長兵衛殺しから七年  
後、寛文四年（1664）三月二十  
七日、病氣を申し立てて奉公を怠り、  
「不行跡である」として切腹を命ぜら  
れた。ただし、これは長兵衛殺しと  
は何ら関係なかった。

長兵衛が殺された水野の屋敷は千代

田区の旧西神田小学校（廃校）付近  
だつたとされる。

その水野も、長兵衛殺しから七年  
後、寛文四年（1664）三月二十  
七日、病氣を申し立てて奉公を怠り、  
「不行跡である」として切腹を命ぜら  
れた。ただし、これは長兵衛殺しと  
は何ら関係なかった。

長兵衛が殺された水野の屋敷は千代

田区の旧西神田小学校（廃校）付近  
だつたとされる。

その水野も、長兵衛殺しから七年  
後、寛文四年（1664）三月二十  
七日、病氣を申し立てて奉公を怠り、  
「不行跡である」として切腹を命ぜら  
れた。ただし、これは長兵衛殺しと  
は何ら関係なかった。

長兵衛が殺された水野の屋敷は千代

田区の旧西神田小学校（廃校）付近  
だつたとされる。

その水野も、長兵衛殺しから七年  
後、寛文四年（1664）三月二十  
七日、病氣を申し立てて奉公を怠り、  
「不行跡である」として切腹を命ぜら  
れた。ただし、これは長兵衛殺しと  
は何ら関係なかった。

長兵衛が殺された水野の屋敷は千代

田区の旧西神田小学校（廃校）付近  
だつたとされる。

その水野も、長兵衛殺しから七年  
後、寛文四年（1664）三月二十  
七日、病氣を申し立てて奉公を怠り、  
「不行跡である」として切腹を命ぜら  
れた。ただし、これは長兵衛殺しと  
は何ら関係なかった。

長兵衛が殺された水野の屋敷は千代

田区の旧西神田小学校（廃校）付近  
だつたとされる。

その水野も、長兵衛殺しから七年  
後、寛文四年（1664）三月二十  
七日、病氣を申し立てて奉公を怠り、  
「不行跡である」として切腹を命ぜら  
れた。ただし、これは長兵衛殺しと  
は何ら関係なかった。

長兵衛が殺された水野の屋敷は千代

田区の旧西神田小学校（廃校）付近  
だつたとされる。

その水野も、長兵衛殺しから七年  
後、寛文四年（1664）三月二十  
七日、病氣を申し立てて奉公を怠り、  
「不行跡である」として切腹を命ぜら  
れた。ただし、これは長兵衛殺しと  
は何ら関係なかった。

長兵衛が殺された水野の屋敷は千代

田区の旧西神田小学校（廃校）付近  
だつたとされる。

その水野も、長兵衛殺しから七年  
後、寛文四年（1664）三月二十  
七日、病氣を申し立てて奉公を怠り、  
「不行跡である」として切腹を命ぜら  
れた。ただし、これは長兵衛殺しと  
は何ら関係なかった。

長兵衛が殺された水野の屋敷は千代

田区の旧西神田小学校（廃校）付近  
だつたとされる。

その水野も、長兵衛殺しから七年  
後、寛文四年（1664）三月二十  
七日、病氣を申し立てて奉公を怠り、  
「不行跡である」として切腹を命ぜら  
れた。ただし、これは長兵衛殺しと  
は何ら関係なかった。

長兵衛が殺された水野の屋敷は千代

田区の旧西神田小学校（廃校）付近  
だつたとされる。

その水野も、長兵衛殺しから七年  
後、寛文四年（1664）三月二十  
七日、病氣を申し立てて奉公を怠り、  
「不行跡である」として切腹を命ぜら  
れた。ただし、これは長兵衛殺しと  
は何ら関係なかった。

長兵衛が殺された水野の屋敷は千代

田区の旧西神田小学校（廃校）付近  
だつたとされる。

その水野も、長兵衛殺しから七年  
後、寛文四年（1664）三月二十  
七日、病氣を申し立てて奉公を怠り、  
「不行跡である」として切腹を命ぜら  
れた。ただし、これは長兵衛殺しと  
は何ら関係なかった。

長兵衛が殺された水野の屋敷は千代

田区の旧西神田小学校（廃校）付近  
だつたとされる。

その水野も、長兵衛殺しから七年  
後、寛文四年（1664）三月二十  
七日、病氣を申し立てて奉公を怠り、  
「不行跡である」として切腹を命ぜら  
れた。ただし、これは長兵衛殺しと  
は何ら関係なかった。

長兵衛が殺された水野の屋敷は千代

田区の旧西神田小学校（廃校）付近  
だつたとされる。

その水野も、長兵衛殺しから七年  
後、寛文四年（1664）三月二十  
七日、病氣を申し立てて奉公を怠り、  
「不行跡である」として切腹を命ぜら  
れた。ただし、これは長兵衛殺しと  
は何ら関係なかった。

長兵衛が殺された水野の屋敷は千代

田区の旧西神田小学校（廃校）付近  
だつたとされる。

その水野も、長兵衛殺しから七年  
後、寛文四年（1664）三月二十  
七日、病氣を申し立てて奉公を怠り、  
「不行跡である」として切腹を命ぜら  
れた。ただし、これは長兵衛殺しと  
は何ら関係なかった。

長兵衛が